

豊川中学校 学校だより
ON THE ROAD 2020 NO.5
 自立・共生・連帯 ～自分を信頼しよう、信頼できる仲間をつくろう！～
<http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/cms/jh05/htdocs/> ☎072-643-1567
 2020年7月31日発行

1学期終了、明日から夏休み。感染症や熱中症に 気をつけて、計画的に過ごしてください。

通常授業が始まって1か月半、短かった1学期が今日で終わります。今年はすべての人にとって、いつもと違う、初めて経験する状況の中での1学期でした。いつもマスクを着けての生活。教室は「テスト座席」のまま、昼食も前向き。グループワークがある短時間以外は、基本的に教室では黒板を向いたままの授業でした。常に人との距離を保つことに注意しながら、勉強も、仲間づくりも行ってきました。がまんすることばかりの中、みんながんばったね。

現在の大阪、日本、世界の状況を見て、残念ながら、2学期以降もこの状況は続くだろうと思います。毎朝の検温、こまめな手洗い、三密を避ける、マスク着用など、みんなが生活習慣として身につけることが、お互いの健康、命を守ることにあります。コロナ以前に戻ることはなかなかできないけれど、今私たちができることの中で、もっとも効果的なことだと思います。これを続けることで、大きな被害を出さないことや、みんなの安心につながっていきます。

一人でがんばるのではなく、みんなで協力してきましょう。しんどい時、困っている時は、遠慮せずに、勇気を出して周りに打ち明けてください。私たちは豊川中学校の仲間なんですから。

短い夏休みですが、2学期以降の生活を充実させるために、計画的に過ごしましょう！
 私からみんなに宿題一つ、『平和』について真剣に考えてみることを、お願いしますね。

コロナのこと、ネットのこと、いのちのこと…身の回りのこと、今起きていることから、深〜く考えました

1学期、みなさんは道徳や総合の時間を通して、この紙面では書ききれないさまざまなことを考え、学んできました。そんな中でも、7月に行われた私が特に印象に残っている学習を振り返ってみたい。

1年生は『それぞれの STAY HOME』というテーマでコロナ禍での生活を振り返り、そこから見えてきた課題（偏見や差別、不安、生きにくさを感じて生活している人がいるという事実）を解決するには？をみんなで作りました。



どの学年も、本当にしっかり考えています。命の大切さをいろんな角度から学び、「人権」とつなげて考えていくことはとても大切です。また、生徒のみんなが、コロナに関わる問題を自分たちの生活につなげて考え、行動にうつしていこうとするのも、とても大切なことです。でも、どこでもできているわけじゃない。豊中のみんなは、とってむすばらしいよ！！

8月 行事予定						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 山の日	11 学校徴収金引落	12 学校閉校日	13 学校閉校日	14 学校閉校日	15
16	17 始業式 45分×4	18 火1～5 45分×5	19 水1～5 45分×5	20 木1～6 45分×6	21 金1～6 45分×6	22
23	24 月1～4補学 45分×6	25 火1～6 45分×6	26 水1～6 45分×6	27 木1～6 45分×6	28 金1～6 45分×6	29
30	31 月1～6	1	2	3	4 3年実力テスト	5

※夏休みは、8月1日～16日となります。今年、夏期水泳指導はありません。部活動の予定は、部活ごとにご確認ください。

※学校閉校日の12日～14日は、生徒の登校を原則禁止（部活動は禁止）します。また、転出入事務や証明書発行などの校務全般を休止します。電話は終日音声ガイダンスでの対応となります。よろしくお願いたします

※現時点での決定になりますので、状況が変われば変更になることもあります。

誰もが安心して暮らせる社会をつくるためには、一人ひとりが差別、偏見をしないという意識を持つことが大切だと思ひ、助け合って生きていく必要があると感じました。自分にできることは限られているかもしれないけど、小さなことでもできることをしていきたいです。

2年生は、人権サークルによる『コロナ』の授業が行われました。みんなから出てきた『コロナについて困っていること』に対し、その解決策を、自分たちでできること、身近なおとなができること、国や公共団体などに取り組んでほしいことに分けて考えました。今までの当たり前だった生活が実はとても尊いものであったことに気づいたり、みんなが困っている中でも、特に困っている人がいることも知り、自分たちにできることについて学びました。



今回の授業で、「コロナで困っている人にどうしたらいいのかな〜と考えてくれたからうれしかったし、授業をふまえてこれからの生活の中で「これはどうすればいいのかな」と考えてほしいなと思いました。みんなで何か一つのことを考えることで、いろんな視点の考えを知ることができるので、自分のためにもなるし、みんなのためにもなるから、一石二鳥だと思った。

3年生は、『いのち』という大きなテーマについて、身体、心、性の多様性について、デートDV・リベンジポルノなど人と人との関係性やネットに関することも総論、さまざまな角度から考えてきました。助産師さんとの出会いでは、あらためて自分や大切な人の体や心のことを正しく知って考えることの大切さも学びました。



お母さんのお腹の中で、赤ちゃんがおっぱいを吸う練習をしていたり、産声を上げるのは、肺を膨らませて呼吸をするため、つまり赤ちゃんが生まれてきて最初に行う、自ら生きようとする大切なことだとスライドを見せてもらいながら学びました。

・妊娠は決して簡単なことじゃないし、よく考えて決断しなければならないものだということがよくわかった。そして、男性・女性ともに体を大事に生きていくことも大切なんだと思った。
 ・助産師さんの話と共通することは、相手の気持ちをしっかりと知って、理解することはとても大事なことだということだった。

